

佐賀県高等学校

P T A 新聞

発行 佐賀県高等学校PTA連合会
 佐賀市南佐賀3-11-15
 (佐賀県立佐賀高等学校内)
 電話 0952(29)2573
 F A X 0952(26)5435
 印刷 大同印刷株式会社

コロナ禍の中で工夫した活動を

会長 西岡 豊



明けましておめでとうございます。希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は全世界が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年となりました。日本でも、全国的に学校が休業となる中で、佐賀県においても、昨年の3月、及び4月後半から5月中旬にかけて県立学校の臨時休業が続き、生徒の学習や学校行事に大きな影響を与えました。

このようなかで、全国高P連大会高根大会はやむを得ず延期、九高P連大会宮崎大会は中止となりました。本県のPTA活動についても、何とか5月の第1回役員会は実施できたものの、6月の通常総会は書面審議、また例年10月から11月にかけて実施していた地区別指導者研修会はすべての地区で中止となりました。

昨年はこうしたコロナ禍の中で、会議の在り方が大きく変わりました。全国高P連の会議をはじめ、県内外で開催される会議もWeb会議が多くなり、改めてICTの発達が働き方に変化をもたらすことを実感するとともに、今後はさらに、AI(人工知能)の発達など、様々な面で大きく変化する社会の中で、柔軟に対応できる子どもたちの育成が求められていることを痛感した年でもありました。

さて、今年にはコロナ感染症が1日でも早く終息し、明るい話題が多い年であってほしいのですが、もうしばらく現在の状況が続くことも考えられます。昨年は思うようなPTA活動ができないうちで、各学校で工夫した取組がなされたと聞いています。(本誌第2面でも紹介)今年も工夫を凝らしながら、子どもたちの健全育成や進路実現に向けた支援ができるよう、学校との連携を密にして活動を続けていきたいと考えています。

高P連大会関係では、今年6月に九州大会が鹿児島県で、8月には全国大会が高根大会で開催されます。特に九州大会については、来年は長崎県、再来年は佐賀県での開催となります。コロナ禍の中ですが、少しずつ準備を進めていきますので、皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

最後に、会員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

シリーズ No31

頑張ってるね!!

輝いてるね!!

「明るく・仲良く・誇らしく」
 うれしの特別支援学校

うれしの特別支援学校は平成19年4月1日に開校しました。本校は、生徒一人一人が個性と能力を発揮し、心豊かにたくましく、積極的に社会に参加し、貢献することを目標に日々頑張っています。本校の学校祭である「とうせん祭」は毎年10月に開催していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響でスケジュールを大幅に変更し、午前中のみ開催となりました。

とうせん祭では中学部・高等部の製品販売や喫茶サービスを行い、多くの保護者の方々に来ていただきました。今年度新

環境ボランティア活動

唐津高等学校・唐津東中学校

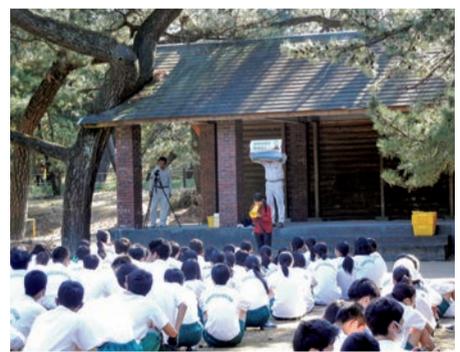
本校は、虹の松原や鏡山、松浦川などの自然に恵まれており、このような地域への貢献の一環として、毎年、10月頃に中高生徒で学校周辺地域の清掃奉仕活動を行っています。今年



は、10月15日(木)に実施しました。今年度は天気にも恵まれ、全校生徒で虹の松原・校地周辺・登校道路・校内の植込みなどの



清掃活動に取り組みました。数年前から高校2年生だけは、徒歩にて虹ノ松原まで移動し、虹ノ松原内の清掃を行っています。NPO法人のKANNE(かんね)という団体の方から、松原清掃の必要性や掃除の仕方などの説明を受け、その後、2クラスずつに分かれ、掃除をする場所に移動し、活動しました。天気も良く、移動中は遠足のように楽しい雰囲気でしたが、いざ清掃活動になると全員が熱心に取り組んでいました。これらの活動を通して、地域



への貢献と学習・生活環境の美化及びボランティア精神を高めることができました。



型コロナウイルス感染予防のため、会計のスペースでは買い物客を誘導するスタッフが並ぶ距離を一定に保つ印を貼ったり、「い

らっしゃいませー!」の声を録音したCDを会場で流したり、フェースシールドを着用したりするなどの工夫をしました。制約がある中での開催でしたが、生徒たちは製品をたくさん購入していただいたことで自信を深めました。

また、本校は障がい者技能大会に参加しています。毎年、ピク大会に出場しました。生徒は、張りつめた緊張感の中「笑顔」を出し、接客を行いました。大会後は「人に見られての接客が緊張した。」「ドリンク運び、トレーさばきが難しかった。」「練習を頑張った良かった。」と感想を聞くことができました。いろいろなことに挑戦している生徒たちは今日も輝いています。



これからの普通科高校

教育再生実行会議は「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」において、生徒の7割が在籍する普通科について「予測不可能な社会を生き抜くため自らのキャリアをデザインする力の育成を重視する」「グローバルに活躍するリーダーや国内外の課題の解決に対応できるリーダー」としての素養の育成を重視する。「サイエンスやテクノロジーの分野等において飛躍知を発見するイノベーター等としての素養の育成を重視する」「地域課題の解決等を通じて体験と実践を伴った探究的な学びを重視する」という学習の方向性に基づいた類型の枠組みを示しました。

中央教育審議会は、これまでの普通科に加えて「SDGsの実現やSociety5.0における現代的な諸課題への対応を図るために、学際的な学びに重点的に取り組む学科」「地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、地域社会が抱える課題の解決に向けた学びに重点的に取り組む学科」「その他普通教育として求められる教育内容であって特色・魅力ある教育を実現すると認められる学科」等の新設を例示しました。文科省は早ければ2022年から「普通科」に加えて「学際融合学科」と「地域探究学科」の2学科を設ける方針です。

文系・理系もなく母校が全く違う学校に変貌していくかもしれません。姿形は変わっていても、学校はそこに集う人たちのとっていつまでも大切な心のよりのところであってほしいと願っています。

佐賀県立伊万里高等学校
 校長 掛園 真樹

2020神高祭 応援タオルで団結!

神埼高等学校



〈特集〉 コロナ禍における各学校の PTAと連携した取組を紹介

本校は、再編統合後、初めて両キャンパス合同で体育祭を行いました。今年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客での実施と決定しました。が、本番に向け準備する生徒たちの情熱や保護者様のお気持ちを察すると、ぜひ当日の活躍を見て頂きたい、本校PTAでは映像制作会社の協力のもと、体育祭を各家庭にライブ配信することにしました。ドローンを含む4台のカメラで、鮮やかなパネル、迫力あるリレー、各団

初の両キャンパス合同体育祭をライブ配信

白石高等学校



の統一感のある応援合戦など臨場感ある姿をお伝えすることができたと思います。普段分かれて勉強している両キャンパスの生徒たちが、同じグラウンドで楽しんでる姿を見ることができ感慨深いものがありました。

今年度は、部活動で多くの大会が中止になり、学校行事も中止や縮小が相次ぎました。学校祭も中止も検討されましたが、何とか開催されました。そのような状況の中で、学校の活性化、生徒の士気高揚を目的とし後援会より全生徒へマフラータオルを配布することにしました。デザインは90周年式典で配布したものを使用し、「2020」の数字を入れ、色を各自が所属する学校祭の団の色(赤、青、黄)としました。学校祭の様子は、後援会の代表が取材をし、新聞にして全保護者に配布します。今年度は、活躍の場を奪われ悔しい思いをした人も多かったと思います。少しでも、そのような生徒、保護者の励みになったのであれば幸いです。

新たな挑戦の一步としての双松祭

唐津西高等学校



今年度は、コロナ禍により、様々な行事が中止や縮小を余儀なくされる中、本校も双松祭(学校祭)については、文化の部を中止し、体育祭の中で、文化部の発表の場を設けるという形での実施としました。「千変万化」をテーマとし、生徒会を中心に

知恵を絞って工夫を重ねての実施となりました。当日は、体育館で美術・書道・華道・文芸・写真の各部の作品展示。体育祭の競技の合間に吹奏楽部の演奏と書道部・理科部の発表を行いました。発表の場を得て、生徒も生き生きと活動していました。また、入場者も、3年生保護者等2名までに制限したため、参観できなかった保護者向けにインターネットによる同時配信を行いました。結果、好評を得ることができ、生徒たちの最大の盛り上がりも多く保護者に見てもらったことができました。今や状況は「千変万化」で変化します。今回の双松祭とおして、生徒たちは、新たに挑戦する(One Step One Up)気持ちを持ってくれたことと思います。

コロナ禍に係る体育祭の取り組み

佐賀工業高等学校

新型コロナウイルス感染症の影響で就職試験開始日が一ヵ月後ろ倒しになり、本校の体育祭の実施に影響がでた。関係職員と検討を重ね、生徒が楽しみにしている体育祭を中止にはできないという職員の思いもあり、日程を前倒しし、無観客・平日・午前中開催にするということになった。生徒会役員たちに、感染予防にも配慮した盛り上がる競技を考えてもらい、「PK合戦」を実施した。この競技であれば密を避け、安全に行うことができ新しい競技だった。当日は熱中症を予防するため、例年より開始時間を繰り上げ、来賓は教育後援会長と同窓会長だけに限定した。また、保護者が観覧できない



↑ぶぶんテレビにより制作

県下一斉合同列車指導

11月12日(木)、佐賀県高等学校生徒指導連盟との合同列車指導(下校時)が行われ、佐賀駅構内で行われた出発式では、西岡豊会長が挨拶で参加者を激励されました。

これは、高校生の駅構内及び列車内でのマナーを向上させるため、県内高校職員、各高校保護者、JR職員、佐賀県警察及び少年補導員が一緒になって、毎年この時期に実施しているものです。今回は特に、コロナ禍の中で、マスクの着用について呼びかけが行われました。



子どもたちの『心の引き出し』に 『佐賀の専修学校』の情報を

「心の引き出し」の中が多い人は、人生の選択が必要な場面でも落ち着いて向き合うことができます。

今後、自らの足で社会に歩みます子どもたちは、進学が就職を選択する時、進学する学校を選択する時、自らと向き合っていくことができます。

将来の夢は十人十色です。それぞれの将来の夢に向かって進路を選択する時に備え、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う「佐賀の専修学校」の存在を「心の引き出し」に入れて欲しいと思います。

佐賀県には、現在27の専修学校があり、約3,700人の生徒が学んでいます。子どもたちが様々な選択の場面に向き合った時「心の引き出し」から「佐賀の専修学校」を取り出して、自らの力でより良い進路を選択し、力強く歩み出して欲しいと願っています。

一 専修学校の種類
専修学校には、入学資格の違いにより、3つの課程があります。

- (1) 「専門課程(専門学校)」
高等学校卒業生及び三年制の

高等専修学校卒業生を対象
(2) 「高等課程」
中学校卒業生を対象
(3) 「一般課程」
特になし

二 専修学校の良さ

① 実践的・専門的な教育
専修学校では、卒業後、社会において即戦力として活躍できるように、実践的な職業教育・専門的な技術教育に力を入れています。

② 多様な分野
佐賀県内には、医療、情報処理、ビジネス・観光、自動車・航空、美容・調理など多様な専門知識・技能を学べる専修学校があります。卒業後は、様々な分野において活躍する人材を輩出しています。

③ 佐賀県の専修学校の情報は「佐賀県の専門学校ナビ」を御覧下さい。
【文責】佐賀県専修学校部会事務局(佐賀県法務私学課私立中高・専修学校支援室)

お知らせ

- 来年度の佐高P連「会費」及び全国高P連賠償責任補償制度の「掛金」は今年度と同じです。
- 佐高P連事務担当者会議
4月21日(水) 14時
「グランデはぐくれ」
- 佐高P連定期総会
6月11日(金) 14時
「グランデはぐくれ」
- 九高P連大会「鹿児島大会」
6月17日(木)・18日(金)
「鹿児島市民文化ホール」
- 全国高P連大会「島根大会」
8月23日(月)・25日(水)
「くにびきメッセ」ほか

佐賀県の専門学校NAVI YouTubeチャンネルもチェック! ジェフ太郎・立木綾乃 が佐賀県内の専門学校を紹介!